

一般質問

区政をきく(一般質問)

平成29年第3回定例会では、区政全般について、10名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。
なお、質問を行った議員の会派名は、一般質問を行った時点の会派名を記載しております。筒井ようすけ議員は、平成29年9月28日付で会派に属さない無所属議員になりました。



筒井ようすけ 議員(維・無)

議員年金復活は反対! 区の現在・将来負担額と区長の見解は?

旧議員年金制度廃止後、旧年金制度に基づく元議員等への年金支給のための区の年間負担額は、また、今後も続く年金支給の負担額の見込みは、②新しい議員年金制度が成立した場合の負担額の見込みは、③旧年金制度による負担について区長の見解は、区の変更となる新たな議員年金制度には反対すべきでは、総務部長 ①これまでの年間平均額は1億6千100万円余で、年々減っていくと推測される。②およそ3千から4千万円と試算される。③国会の場で審議されることと認識し

ており、動向を見守っていく。議員報酬等を審議する会議は公開を!

①議員や首長の不祥事が続く中、多くの都民が政治・行政の情報公開を望んでいる。特別職報酬等審議会が非公開なのは品川区を含め5区しかない。完全公開すべきでは、総務部長 ①委員である区民の方々から忌憚のない議論をしていただくため、あえて公開は行っていない。答申の詳細をホームページに公開し、透明性の確保に努めている。

区民共感を! 「都市型観光」の意義と今後の展開は?

①品川区世論調査で、特に力を入れてほしい施策の質問に対し、観光はわずか14%と区民が望む施策とは言いがたい。観光施策実施の意義とは、②都市型観光の定義とは、③立会川に坂本龍馬像がある品川区として、没後150年のイベント等の考えはあるのか。文化スポーツ振興部長 ①地域のにぎわい創出や、区への愛着醸成といった意義がある。②商店街や祭り等を活用し、まち歩きや買い物等を楽

しむ観光ととらえている。③地域の各団体によるイベントについて支援、連携していく。シティプロモーションの成果と品川の強み創出を!

①品川区といえばこれだという強みをつつくるべきと考えが見解は、区長 ①水辺観光など品川の持つポテンシャルを磨き上げ、新たな強みを区民の皆様とともに作り上げていきたい。

電気自動車時代到来。区の対応と環境啓発は?

①区に関連施設に電気自動車の充電場所の設置拡大を。②環境の象徴となるよう、公園の管理車両の電気自動車化を進めるべきでは、都市環境部長 ①21施設に充電設備を設置しているがまだ不足しているため、民間事業者にも設置の検討を求める。②公園をはじめとする指定管理者等へも、引き続き環境への配慮を求めている。

「五反田バレー」など新・企業集積拠点の側面支援は?

①民間で自然発生的に情報通信業等が集積した五反田バレーについて、活性化拠点を得られる好機ととらえ支援すべきでは、②五反田バレーをシティプロモーションに活用するべきと考えるが見解は、地域振興部長 ①IOTやAIなどをテーマにした講演会や各参加者による懇親会などを実施し、企業グループの立ち上げ支援を開始している。

②新たなイノベーションを生む拠点都市として、シティプロモーションと連携を図りつつ区の魅力発信に努めていく。早期にミサイル・テロ対策を!

①北朝鮮が東京に向けてミサイルを発射するような事態になった場合の区の対策は、



鈴木 真澄 議員(自・未)

長期基本計画改定について

①現在の品川区長期基本計画は平成21年度から30年度までを計画期間としており、改定作業が始まっている。新しい計画の基本的な視点や区民の関わり方等、検討の枠組みとは、②都市間競争を勝ち抜くという危機感を持って、大井町のまちづくりについて議論を。③JR広町社跡地活用について④JR東日本との協議状況や方向性は、⑤東京オリンピック・パラリンピックに向け、跡地の短期的な有効活用を、区長 ①今後の人口構造の

変化やオリンピック・パラリンピックの開催を契機としたまちづくりなど、新たな施策体系も模索していく。学識経験者や公募区民等からなる策定委員会での十分な検討の後、平成32年度からの新計画スタートをめざしていく。②都市づくりのブランドデザインで都が大井町を中枢広域拠点に

②東京オリンピックはテロリストにとって格好のターゲットになるといわれている。早期のテロ対策が必要では、災害対策担当部長 ①品川区国民保護計画「武力攻撃事態等への対処」に基づき、避難誘導など必要な対応を実施することとしている。②関係機関と連携し、区として求められる役割を果たしていく。

①子ども未来部長 ①国・都の財政支援は約1億3千万円で、国の運営費補助は人件費の基準額が引き上げられており、今後増額分を要求する。②都が実施する運営費補助の充実について働きかけていく。区としては私立幼稚園事業に対する支援の拡充を検討していく。③定員12名のオアシスルームを区役所第三庁舎に30年4月開設する。④区独自のガイドラインとして、のびのび育つしながわつこ等を策定し各講演会で活用しており、全国の自治体等から問い合わせがある。

高齢者福祉について ①介護離職者ゼロの実現に向け介護サービスのニーズを的確に把握し、第七期介護保険事業計画に反映していくことが重要だが、区としてのどのよう調査し計画に取り組んでいくのか。②上大崎特別養護老人ホームが6月に開設さ

れたため保育園に子育て人材が流れ、すまいるスクール等の人材確保が極めて難しくなっている。放課後対策について国、都の財政支援は、②私立幼稚園においても、教員の確保に苦慮している。処遇改善に向けた都への要望や、区ができる施策の検討を。③区では在宅で子育てされる区民を対象にオアシスルームを整備しているが、設置場所にやや偏りがある。大井町周辺で

の支援の拡充を。④区では幼稚園と保育園の両方の良さを生かす幼保一体化に取り組み、大きな成果を上げてきた。このような成果をネット情報や講演会を通じて案内しては、子ども未来部長 ①国・都の財政支援は約1億3千万円で、国の運営費補助は人件費の基準額が引き上げられており、今後増額分を要求する。②都が実施する運営費補助の充実について働きかけていく。区としては私立幼稚園事業に対する支援の拡充を検討していく。③定員12名のオアシスルームを区役所第三庁舎に30年4月開設する。④区独自のガイドラインとして、のびのび育つしながわつこ等を策定し各講演会で活用しており、全国の自治体等から問い合わせがある。

次回の区議会だよりは新聞折り込みでお届けします

次回、平成30年1月1日発行予定の区議会だよりは、新聞折り込みでお届けいたします。また、平成30年1月4日から11日までは品川区内の駅の広報スタンドにも置いてありますのでご利用ください。

なお、次回の区議会だよりからは、A4サイズにリニューアルする予定です。

区議会だよりは区議会ホームページからもご覧いただけます。

品川区議会

検索